

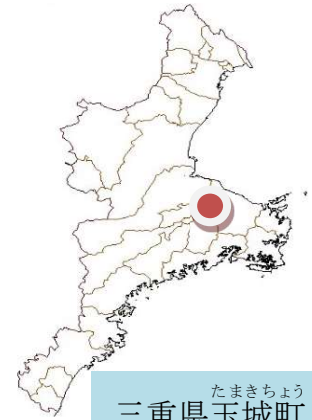
すが う だ さ た お き
清し有田佐田沖環境保全会



散策用の木道の整備

地域だけでの里地・里山の保全管理が難しくなったことから、多様な主体の参画による保全活動を目指して県の支援を受け企業とのマッチングなども行い、令和3年に地元企業2社と里地・里山の保全等に関する協定を締結。

そのほか、地元のNPOや生物の専門家とも連携してビオトープをフィールドに生物多様性の保全活動等に取り組んでいる。



たまきちょう
三重県玉城町



チョウの食餌植物の植栽

【生物多様性の保全】

令和2年と3年にはアサギマダラが確認されたほか、アキアカネなど新たな生きものも確認されるようになってきており、人の手が加わることによって維持される里山の生物多様性が保全されている。

【体験学習と教育、地域社会の振興】

出前授業や生きもの観察会に参加した児童からは、身近な場所に様々な生きものが生きていることを学習できたことに感謝する感想文が寄せられている。

保全会ではビオトープでの活動などをSNSで発信しており、ビオトープを舞台とした様々なイベントは地元紙や町の広報誌などでも紹介され地域のイメージアップにも一役買っている。



生きもの観察会（調査）



生きもの観察会（同定）



里山ウォーキングでビオトープ内を散策



ハンドパンのミニコンサート